

青年の自己像と基本的対人態度

丹下庄一，根来三枝子

University Students' Self-Images and Basic Attitudes to People

SHOICHI TANGE AND MIEKO NEGORO

はじめに

自己概念または自己像とは、「客体としての自己」についてのことであり、「意識的事実として体験されたものとしての自己」についてなのである。自己概念または自己像に関する研究は数多くなされており、とくに青年期の心理を理解する上で、これらの研究が役立つものと期待されている。これらの研究の最近約10年間の展望についてまとめられた報告も出版されている^{1,2)}すなわち、自己概念の諸相間の関係および適応行動との関連、自己概念形成のメカニズム、自己像の研究・発達などがとり上げられている。

本稿では、自己像と他の変数との関連をみようとして、人に対する態度（基本的対人態度）をとり上げる。これは、日常生活における経験により、何らかの関係があるのではないかとの仮説をもったためである。

Horney³⁾は現代の神経症の人格の考察を行ったが、神経症において基本的な役割を果たすものは、「基本的不安」であると考え、基本的不安に対する防衛の試みとして発生する「神経的要求」を10個あげている。さらにこの神経症的要求を3つの大きな群に分類した（表-1参照）。この3つの要求を自己および他人に対する3つの基本的指向と呼んだ。

西平⁴⁾は、Horneyの理論にもとづき、基本的対人態度を測定する方法を開発した。

表-1 Horneyの基本的指向

1	人々の方に動く（moving toward people）
	（依存） 例えは情愛への要求
2	人々に対立して動く（moving against people）
	（攻撃） 例えは権力への要求
3	人々から離れる（moving away from people）
	（孤立） 例えは自給自足への要求

方 法

I 対象

大阪市立大学学生200名。性別・学年・学部がなるべく偏らないように、また所属クラブについても、運動系・音楽系・文化系でなるべく偏らぬように配慮した。

被験者の性別、学年・学部・所属クラブ別の人数は表-2のとおりである。

表-2 被験者の内わけ

性	人数	学年	人数	学部	人数	所属クラブ	人数
男子	117	1	47	商	15	運動系	72
女子	83	2	40	経	26	音楽系	52
		3	55	法	24	文化系	37
		4	58	文	28	無所属	39
				理	9		
				工	37		
				医	3		
				生薬科	56		
				不明	2		

II 調査項目

1 自己像の測定

SD (Semantic Differential) 法を用いる。性格、身体像など自己像を表わすと思われる形容詞の対を30個選び、SDスケールとした（付表-1参照）。自己像、すなわち自分自身についてのイメージを調べるため、選択した形容詞の対の中には、あえて漠然とした意味をもつ対も入っている。被験者が手軽に調査に応じられ、かつある程度その人の自己像がとらえられるように、30個のSDスケールとしてまとめた。

実施法としては、被験者は自分自身についてもっているイメージを思い浮かべた上で、30個のSDスケールについて、7段階評定尺度のうち最もよくあてはまる箇所に、チェックする。出来るだけ、「どちらでもない」の所にはチェックしないようにする。

2 基本的対人態度測定

西平⁴⁾がHorneyの理論にもとづき作成した態度測定項目を用いる(付表-2参照)。青年の基本的対人態度の3型について測定するものである(表-3参照)。

実施法は、自分と他人との関係を考えて、調査項目のうち、自分によくあてはまる所を、被験者はチェックする。

表-3 基本的対人態度の3型

T型：依存=親和型	
Horneyの toward people 型の消極的特性と積極的な側面として、愛情深さ・親切・寛容・献身的態度・民主的態度・幸福な人間関係と連絡感などの特性をもつ。	
A型：敵対=指導型	
Horneyの against people 型の特性と健康な側面として、自尊心・斗志・積極的な人生態度・企画性・実行力に富んだ指導力の特性が加わる。	
I型：孤立=独創型	
Horneyの away from people 型の特性と積極的な側面として、地味な着実さ・謹厳なものごし・あることへの専念・独創性・独立独歩の責任感などの特性がある。	

III 調査結果の整理

1 自己像

各人の結果を1から30までのSDスケールの対毎に得点化(表-4参照)、全員および男女別について、各SDスケールの平均得点を算出する。

理工系学生と商経系学生の自己像の比較を行う。理工系は理学部と工学部の標本を合算したものであり、商経系は商学部と経済学部の標本を合算したものである。

2 基本的対人態度

調査目録がT A Iの順に並び、T A Iの項目がそれぞれ10ずつ入っている。5段階尺度法でAを4点、Bを3点、……以下Eを0点として計算する。算定表(表-5参照)に記入した点数を、第1列(項目1・7・13・19・25)で合計点を出しTgの得点とする。以下同じくIpまでの得点を求める。TgとTpの点を加え、これがTの粗点となる。A、Iについても同様合計点を出す。

参考までに、T A Iの粗点の合計を100としてT A Iの%も計算する。次にTg、Ag、Igの3つを加えgの得点とし、Tp、Ap、Ipの3つを加えpの得点とし、g対pの比を計算する。g(good)とはT A Iに関係なく好ましい対人関係であり、p(poor)とは好ましくない対人関係である。

各人のT A I点、T%・A%・I%、g対pの比を算出し、全員および男女別、学部別にそれぞれの平均を求

表-4 SDスケールの得点化

とても	かなり	やや	どちらでもない	やや	かなり	とても
3点	2点	1点	0点	-1点	-2点	-3点

表-5 算定表

1	7	13	19	25	Tg
2	8	14	20	26	Ag
3	9	15	21	27	Ig
4	10	16	22	28	Tp
5	11	17	23	29	Ap
6	12	18	24	30	Ip

T	A	I	計	
				粗点
				%

める。

3 基本的対人態度と自己像との関連

a. 基本的対人態度のT A I別段階分け

男女各々T A I別に得点の度数分布表を作製し、正規分布化するため、粗点をT得点に変換したうえで5段階に分ける。得点の低いグループから順に①②③④⑤グループとし分類する。次に関連性を検定する上での便宜上、①～⑤の5段階分類を3段階分類にまとめる。①②を合わせてIグループ、③④をIIグループ、⑤⑥を合わせてIIIグループとする。

b. 自己像のSDスケール得点の段階分け

SDスケール得点を+点(3点, 2点, 1点), 0点, -1点(-3点, -2点, -1点)に分ける。

c. T A I別のI・II・IIIグループとSDスケールの3段階(+点, 0点, -1点)との関連をみるため、 χ^2 検定を行う。

d. 上記の χ^2 検定結果より、有意な連関がみとめられるSDスケールについて、T A I別にI・II・IIIグループの平均得点を算出する。

e. T A I別に、それぞれIグループとIIIグループの平均得点の差の検定を行う(t検定)。

結 果

1 自己像

自己像測定に用いたSDスケールの平均得点は、全員および男女別に表-6に示し、自己像のプロフィールを図1・2に示した。男女差について、SDスケールの平均得点の差の検定を行い、有意差のある項目のみを表-7に示した。

理工系学生と商経系学生のSDスケールの平均得点は表-8に示すとおりであり、両者の差を検定した結果、有意差のある項目は表-9に示した。

2 基本的対人態度

基本的対人態度のTAI別平均点・%などは表-10に示した。

3 基本的対人態度の類型別にみた自己像の特徴

a. T型傾向と自己像

T型傾向3段階分類グループの人数は表-11に示すとおりである。

T型傾向3段階分類とSDスケール3段階分類との間に、有意な連関を示すSDスケールは表-12に示した(χ^2 検定)。

有意な連関のあるSDスケールについて、I・II・IIIグループ別の平均得点は表-13に示す。

有意な連関のあるSDスケールについて、T-IグループとT-IIIグループの平均得点の差の検定を行い、有意差のみられた項目のみを表-14に示した(t検定)。

b. A型傾向と自己像

T型傾向と同じく、A型傾向3段階分類グループの人数は表-15に、有意な連関を示したSDスケールは表-16に、I・II・IIIグループ別のSDスケールの平均得点は表-17に、A-IグループとA-IIIグループのSDスケールの平均得点の差の検定結果は表-18に示した。

c. I型傾向と自己像

上記の2つの類型と同じように表-19・20・21・22に示した。

考 察

1 自己像

男女差については、図-2に示すとおり、対照的なちがいで、男性の「理性的」、「ふかい」、「複雑な」、「強い」、「利他的」に対して、女性は「感情的」、「あざい」、「単純な」、「弱い」、「利己的」な自己像をもっていることが明らかになった。

男性と女性の自己像の差異に関して、SarbinとRosenberg⁵⁾の研究によれば、形容詞のチェック・リストを用

表-6 SDスケール平均得点

S Dスケール			全 体	男 子	女 子	
1	あかるい	— くらい	1	1.1	1.0	1.1
2	理性的	— 感情的	2	0.3	0.6	-0.2
3	積極的	— 消極的	3	0.2	0.4	0
4	苦しい	— 楽しい	4	-0.7	-0.8	-0.7
5	社交的	— 社交的でない	5	0.3	0.3	0.2
6	攻撃的	— 防衛的	6	-0.3	-0.1	-0.6
7	あたらしい	— ふるい	7	0.1	0.2	0
8	謙そん	— 高慢な	8	0.5	0.6	0.3
9	ふかい	— あざい	9	0.2	0.5	-0.2
10	病弱な	— 健康な	10	-1.6	-1.6	-1.6
11	調和する	— 不調和な	11	0.9	1.0	0.9
12	はやい	— おそい	12	0.1	0.2	-0.1
13	複雑な	— 単純な	13	0	0.2	-0.4
14	勇敢な	— 臆病な	14	-0.1	0	-0.4
15	かたい	— やわらかい	15	0.1	0.2	-0.1
16	信じやすい	— 疑い深い	16	0.9	0.7	1.1
17	強い	— 弱い	17	0.2	0.6	-0.3
18	かどのある	— まるい	18	-0.5	-0.6	-0.2
19	興奮しやすい	— 落着いている	19	0.2	0.1	0.4
20	正直な	— 不正直な	20	1.2	1.3	1.1
21	しめった	— かわいた	21	-0.3	-0.4	-0.1
22	きびしい	— 寛大な	22	-0.7	-0.8	-0.5
23	未熟な	— 成熟した	23	0.5	0.3	0.8
24	競争的	— 協力的	24	-0.4	-0.5	-0.4
25	用心深い	— 軽率な	25	0.2	0.3	0.1
26	あたたかい	— つめたい	26	0.9	1.0	0.6
27	きれいい	— きたない	27	0.6	0.6	0.5
28	利他的	— 利己的	28	-0.2	0.1	-0.5
29	よい	— わるい	29	0.7	0.9	0.4
30	敏感な	— 鈍感な	30	0.6	0.9	0.1

表-7 男女差のあるSDスケール(t検定)

SDスケール			t 値
2	理性的—感情的	2	3.711**
3	積極的—消極的	3	1.978*
6	攻撃的—防衛的	6	2.485*
9	ふかい—あざい	9	3.712**
13	複雑な—単純な	13	2.606**
14	勇敢な—臆病な	14	2.018*
17	強い—弱い	17	4.732**
18	かどのある—まるい	18	1.967*
23	未熟な—成熟した	23	2.446*
26	あたたかい—つめたい	26	2.061*
28	利他的—利己的	28	3.185**
29	よい—わるい	29	2.846**
30	敏感な—鈍感な	30	3.529**

** 1%有意水準

* 5%有意水準

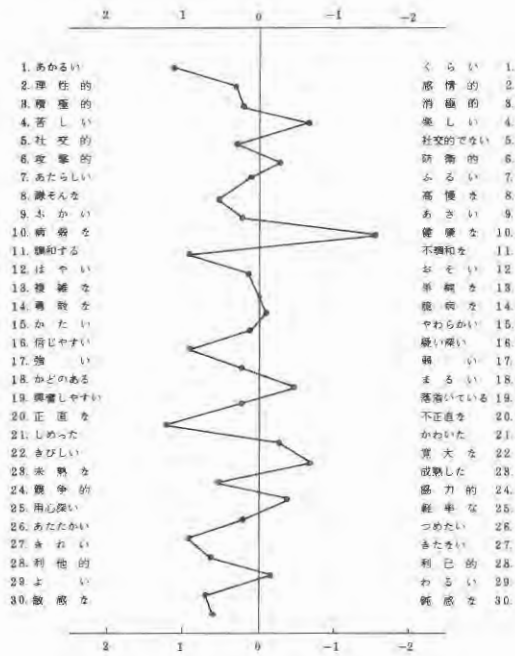


図-1 自己像平均プロフィール (全体)

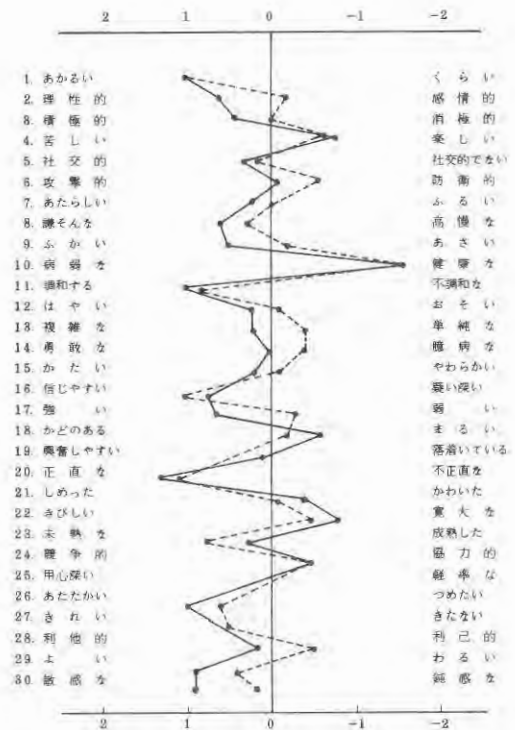


図-2 自己像平均プロフィール (男女別)

— 男子 — 女子

表-8 理工系と商経系のSDスケール平均得点

SD スケール			理工系	商経系	
1	あかるい	— くらい	1	1.2	1.0
2	理性的	— 感情的	2	0.7	0.6
3	積極的	— 消極的	3	0.5	0.3
4	苦しい	— 楽しい	4	-0.9	-0.7
5	社交的	— 社交的でない	5	0.3	0.4
6	攻撃的	— 防衛的	6	0.3	0
7	あたらしい	— ふるい	7	0.3	0.3
8	謙そんな	— 高慢な	8	1.0	0.1
9	ふかい	— あさい	9	0.8	0.2
10	病弱な	— 健康な	10	-2.1	-1.4
11	調和する	— 不調和な	11	1.2	1.0
12	はやい	— おそい	12	0.2	0.3
13	複雑な	— 単純な	13	0.3	0
14	勇敢な	— 臆病な	14	0	0.2
15	かたい	— やわらかい	15	0.3	0.2
16	信じやすい	— 疑い深い	16	0.9	0.6
17	強い	— 弱い	17	0.8	0.4
18	かどのある	— まるい	18	-0.8	-0.4
19	興奮しやすい	— 落ち着いている	19	0.1	0.2
20	正直な	— 不正直な	20	1.6	0.9
21	しめった	— かわいた	21	-0.5	-0.3
22	きびしい	— 寛大な	22	1.3	-0.4
23	未熟な	— 成熟した	23	0.3	0.2
24	競争的	— 協力的	24	-0.7	-0.4
25	用心深い	— 軽率な	25	0.1	0.2
26	あたたかい	— つめたい	26	1.4	0.7
27	きれい	— きたない	27	0.8	0.3
28	利他的	— 利己的	28	0.3	0.1
29	よい	— わるい	29	1.1	0.7
30	敏感な	— 鈍感な	30	0.7	0.9

表-9 理工系と商経系の有意差のあるSDスケール

SDスケール		t 値
8 謙そんな	— 高慢な	8 3.054**
10 病弱な	— 健康な	10 2.546*
20 正直な	— 不正直な	20 2.588*
22 きびしい	— 寛大な	22 2.634*

いて調べた結果は、女性にくらべて男性の方が、「成熟した」、「論理的」、「冒険的」、「熟考の」、「有能である」などの特徴を自己に帰する傾向が強い。逆に女性は男性にくらべて、「女性的」、「感情的」、「情愛的」、「やさしい」などの特徴を自らに認める傾向が強いようである。

自己像の男女差については、本調査も Sarbinらの研究結果と大体対応すると思われるが、女性が男性にくらべて「情愛的」、「やさしい」という点に関して、本調査では男

表-10 基本的対人態度

〔全体〕

	T	A	I	g/p
平均粗点	20.4	16.0	17.0	
標準偏差	4.8	5.0	5.5	
%	38	30	32	

〔男子〕

	T	A	I	g/p
平均粗点	20.2	17.3	17.3	
標準偏差	4.7	4.7	6.0	
%	37	32	32	

〔女子〕

	T	A	I	g/p
平均粗点	20.7	14.2	16.4	
標準偏差	4.7	4.7	5.2	
%	40	28	32	

表-11 T型傾向I～IIIグループの人数

〔全体〕

〔男子〕

〔女子〕

T-I	46	T-I	28	T-I	18
T-II	101	T-II	54	T-II	47
T-III	53	T-III	35	T-III	18

表-12 X²検定の結果 (T得点と有意な連関のあるSDスケール)

SDスケール	全体	男子	女子
1 あかるい-くらい	10.988*	10.899*	
3 積極的-消極的	16.711**	9.906*	11.385*
6 攻撃的-防衛的	16.106**	11.936*	9.826*
7 あたらしい-ふるい?			9.516*
10 病弱な-健康な	10.188*		
12 複雑な-単純な			9.868*
13 勇敢な-臆病な	21.052**	9.665*	17.878**
16 信じやれ-疑い深い		10.818*	
17 強い-弱い	15.347**	11.337*	
18 かどみえる-まるい	9.891*		
20 正直な-不正直な	9.879*	11.552*	
28 未熟な-成熟した	11.968*		
30 敏感な-鈍感な			11.444*

** 1%有意水準
* 5%有意水準

表-13 T型傾向I～IIIグループ

SDスケール平均得点 (有意な連関のみ)

〔全体〕

スケール No.	T-I	T-II	T-III
1	1.3	0.9	1.3
3	1.1	0	-0.2
6	0.3	-0.4	-0.7
10	-1.8	-1.6	-1.3
14	0.6	-0.2	-0.6
17	0.8	0.1	-0.2
18	-0.2	-0.8	-1.0
20	1.3	1.1	1.5
28	0.1	0.7	0.7

〔男子〕

スケール No.	T-I	T-II	T-III
1	1.3	0.8	1.2
3	1.0	0.4	-0.2
6	0.5	-0.1	-0.5
14	0.5	0.1	-0.4
16	0.1	0.7	1.2
17	1.1	0.5	0.1
20	1.4	1.0	1.7

〔女子〕

スケール No.	T-I	T-II	T-III
3	1.2	-0.3	-0.2
6	0	-0.7	-0.9
7	0.6	-0.3	-0.1
18	-0.8	-0.3	-0.8
14	0.8	-0.6	-1.1
30	0.9	-0.1	-0.2

表-14 T型傾向T-I対T-III SDスケール
平均得点の差 (t検定)

〔全体〕

SDスケール	t 値
3 積極的-消極的	4.779**
6 攻撃的-防衛的	3.568**
14 勇敢な-臆病な	4.260**
17 強い-弱い	3.588**
18 かどのある-まるい	2.677**

〔男子〕

〔女子〕

SDスケール	t 値	SDスケール	t 値
3 積極的-消極的	3.348**	3 積極的-消極的	3.327**
6 攻撃的-防衛的	2.943**	14 勇敢な-攻撃的	4.607**
14 勇敢な-臆病な	2.350*		
16 信じやれ-疑い深い	2.791**		
17 強い-弱い	2.943**		

表-15 A型傾向I～IIIグループの人数

〔全体〕

〔男子〕

〔女子〕

A-I	50	A-I	33	A-I	17
A-II	99	A-II	54	A-II	45
A-III	51	A-III	30	A-III	21

子の方が女子よりも、「あたたかい」、「まるい」という傾向がともに大きいといえる。

理工系学生と商経系学生の自己像を比較した場合、両者で差の見られたのは、理工系学生の方が商経系学生にくらべ「謙そんな」傾向が大きいほかに、「寛大な」、「正直な」、「健康な」傾向がそれぞれ大きいということがわかった。

2 基本的対人態度

西平⁶⁾によれば、一般に女子はT型が圧倒的に多く、I型がこれに次ぎ、A型はさらに少ない。男子はT型が多いが、A型・I型もかなり見られるという。この傾向は本調査でも、男子・女子ともよくあてはまるように思われる。

表-16 X²検定の結果 (A得点と有意な連関のあるSDスケール)

SDスケール	全 体	男 子	女 子
3 積極的 — 消極的	32.280**	14.562**	23.484**
5 社交的 — 社交的でない	10.278*	9.748*	9.748*
6 攻撃的 — 防衛的	27.849**	15.687**	20.766**
8 謙遜な — 高慢な	28.986**	15.951**	9.828*
11 調和する — 不調和な	11.191*	10.104*	13.547**
15 かたまり — やわらかい	17.500**	10.628*	9.612*
18 かどのある — まるい	27.172**	14.866**	21.102**
19 興奮しやれい — 落ち着いている	17.500**	10.628*	9.612*
20 正直な — 不正直な	12.286*	10.740*	25.182**
22 きびしい — 寛大な	15.395**	15.986**	14.897**
23 未熟な — 成熟した	14.685**	15.986**	14.897**
24 競争的 — 協力的	37.434**	15.986**	14.897**

表-17 A型傾向I~IIIグループ

SDスケール平均得点 (有意な連関のみ)

〔全 体〕				〔男 子〕			
スケール No.	A-I	A-II	A-III	スケール No.	A-I	A-II	A-III
3	-0.7	0.5	0.6	3	-0.4	0.7	0.6
5	-0.3	0.4	0.6	6	-0.8	0	0.6
6	-1.0	-0.4	0.5	8	1.2	0.6	-0.1
8	1.2	0.5	-0.1	15	-0.1	0.4	0.1
11	1.4	0.9	0.7	18	-1.2	-0.8	0.2
18	-1.0	-0.6	0.4	19	-0.5	0.5	0
19	-0.4	0.4	0.4	28	0.9	0	0.1
20	1.5	1.2	1.0	24	-1.1	-0.5	0.8
22	-1.1	-0.7	-0.8				
23	1.1	0.8	0.4				
24	-1.1	-0.5	0.4				

〔女 子〕			
スケール No.	A-I	A-II	A-III
3	-1.3	0.2	0.8
5	-0.6	0.2	0.7
6	-1.4	-0.8	0.4
11	1.6	0.7	0.7
18	-0.6	-0.5	0.6
19	-0.2	0.8	1.0
22	-0.8	-0.8	0.4
24	-1.3	-0.4	0.4

表-18 A型傾向A-I対A-III

SDスケール平均得点の差(t検定)

〔全 体〕			〔男 子〕		
SDスケール	t 値		SDスケール	t 値	
3 積極的 — 消極的	3	4.924**	3 積極的 — 消極的	3	2.860**
5 社交的 — 社交的でない	5	3.900**	6 攻撃的 — 防衛的	6	4.222**
6 攻撃的 — 防衛的	6	5.848**	8 謙遜な — 高慢な	8	3.878**
8 謙遜な — 高慢な	8	5.880**	18 かどのある — まるい	18	3.888**
11 調和する — 不調和な	11	2.651*	28 未熟な — 成熟した	28	2.238*
18 かどのある — まるい	18	5.016**	24 競争的 — 協力的	24	3.797**
19 興奮しやれい — 落ち着いている	19	2.509*			
22 きびしい — 寛大な	22	2.746**			
23 未熟な — 成熟した	23	2.988**			
24 競争的 — 協力的	24	5.758**			

〔女 子〕		
SDスケール	t 値	
3 積極的 — 消極的	3	6.000**
5 社交的 — 社交的でない	5	2.842**
6 攻撃的 — 防衛的	6	4.049**
11 調和する — 不調和な	11	2.788*
18 かどのある — まるい	18	2.787*
19 興奮しやれい — 落ち着いている	19	2.852*
22 きびしい — 寛大な	22	2.720*
24 競争的 — 協力的	23	5.027**

3 基本的対人態度の類型別にみた自己像の特徴

a. T型傾向と自己像

T-IグループとT-IIIグループのSDスケール平均得点の比較により、明らかになった点は次のようである。T型の傾向が増加する(Tの得点が増加する)と、自己像

表-19 I型傾向I~IIIグループの人数

〔全体〕		〔男子〕		〔女子〕	
I-I	75	I-I	41	I-I	34
I-II	60	I-II	43	I-II	17
I-III	65	I-III	33	I-III	32

表-20 X²検定の結果 (I得点と有意な連関のあるSDスケール)

SDスケール	全 体	男 子	女 子
1 あかるい — くらい	1	31.770**	24.130**
3 積極的 — 消極的	3	31.866**	27.980**
4 苦しい — 楽しい	4	23.080**	15.258**
5 社交的 — 社交的でない	5	42.284**	27.538**
7 あたらしい — ふるい	7	17.684**	16.238**
11 調和する — 不調和な	11	23.767**	17.778**
12 はやい — おそい	12	14.838**	17.920**
14 勇敢な — 臆病な	14	21.091**	10.143*
15 かたい — やわらかい	15	10.462*	10.143*
17 強い — 弱い	17	15.342**	9.668*
20 正直な — 不正直な	20	9.668*	10.420*
21 しめった — かわいた	21	10.227**	10.441*
22 きびしい — 寛大な	22	17.850**	11.789*
26 あたたい — つめたい	26	21.960**	20.742**
27 きれい — きたない	27	15.083**	12.284**
30 敏感な — 鈍感な	30	10.755*	14.897**

表-21 I型傾向I~IIIグループ

SDスケール平均得点 (有意な連関のみ)

〔全 体〕				〔男 子〕			
スケール No.	I-I	I-II	I-III	スケール No.	I-I	I-II	I-III
1	1.5	1.2	0.4	1	1.5	1.8	0.1
3	0.7	0.4	-0.5	3	1.0	0.6	-0.7
4	-1.0	-1.0	-0.2	4	-1.1	-1.0	0
5	0.9	0.5	-0.7	5	1.0	0.7	-0.9
7	0.5	0.3	-0.5	7	0.7	0.4	-0.6
11	1.4	1.1	0.2	11	1.5	1.8	0.1
12	0.6	0.1	-0.4	14	0.6	0.1	-0.8
14	0.3	0	-0.8	21	-0.8	-0.3	0
15	-0.3	0	0.5	22	-1.2	-0.8	-0.4
17	0.4	0.4	-0.2	30	1.4	1.1	0.1
20	1.5	1.2	0.9				
21	-0.5	-0.3	0.1				
22	-1.0	-0.8	-0.3				
26	1.3	1.0	0.2				
27	0.9	0.6	0.2				
30	0.9	0.8	0				

〔女 子〕			
スケール No.	I-I	I-II	I-III
1	1.5	1.1	0.7
3	0.3	0	-0.3
5	0.8	0.1	-0.4
17	-0.2	-0.2	-0.5
22	-0.8	-0.8	-0.2
26	1.1	0.9	-0.2
27	0.9	0.3	0.3

は次のように変化する。まず全体的にみると、

積極的 → 消極的

勇敢な → 臆病な

強 い → 弱 い

攻撃的 → 防衛的

まるい傾向が大きくなる

すなわち、T型傾向の顕著な者の自己像の特徴は、消極的で、臆病で、弱く、防衛的であり、かなりまるいと

表-22 I型傾向I-I対I-III
SDスケール平均得点の差(t検定)

〔全 体〕		〔男 子〕	
SDスケール	t 値	SDスケール	t 値
1 あかるい — くらい	1 6.485**	1 あかるい — くらい	1 4.627**
3 積極的 — 消極的	3 5.117**	3 積極的 — 消極的	3 5.856**
4 苦しい — 楽しい	4 3.196**	4 苦しい — 楽しい	4 3.111**
5 社交的 — 社交的でない	5 6.714**	5 社交的 — 社交的でない	5 5.694**
7 あたらしい — ふるい	7 4.446**	7 あたらしい — ふるい	7 3.920**
11 調和する — 不調和な	11 4.829**	11 調和な — 不調和な	11 3.766**
12 はやい — おそい	12 3.979**	12 勇敢な — 臆病な	12 4.550**
14 勇敢な — 臆病な	14 4.746**	21 しめった — かわいた	21 2.504*
15 かわいた — やわらかい	15 3.261**	22 きびしい — 寛大な	22 2.108*
17 強い — 弱い	17 2.512*	30 敏感な — 鈍感な	30 3.520**
20 正直な — 不正直な	20 2.700**		
21 しめった — かわいた	21 2.670**	〔女 子〕	
22 きびしい — 寛大な	22 2.781**		
26 あたにかい — つめたい	26 4.867**	1 あかるい — くらい	1 3.075**
27 きれい — きたない	27 3.267**	5 社交的 — 社交的でない	5 3.582**
30 敏感な — 鈍感な	30 3.244**	26 あたにかい — つめたい	26 4.611**
		27 きれい — きたない	27 2.674*

いうことが出来る。

男女別に見てみると次のようである。T型傾向が増加すると、男女の自己像は次のように変化する。

〔男子〕

積極的 → 消極的
攻撃的 → 防衛的
勇敢な → 臆病な
強い傾向が小さくなる
信じやすい傾向が大きくなる

〔女子〕

勇敢な → 臆病な
積極的 → 消極的

T型傾向の顕著な男子の自己像の特徴は、消極的で防衛的であり、あまり強くなく、かなり信じやすく、また臆病である。T型傾向の顕著な女子の自己像の特徴は、臆病で消極的ということが出来る。

b. A型傾向と自己像

A型傾向が増加すると自己像はどのように変化するかを、全体的、男女別に見てみる。

〔全体〕

協力的→競争的 社交的でない→社交的
防衛的→攻撃的 落着いている→興奮しやすい
謙そんな→高慢な 寛大な傾向小さくなる
まるい→かどのある 調和する傾向小さくなる
消極的→積極的 未熟な傾向小さくなる

すなわち、A型傾向顕著な者の自己像の特徴は、競争的、攻撃的で、高慢でかどがあるが、積極的で社交的である。またあまり寛大でも調和する方でもないが、あまり未熟ではないということが出来る。

〔男子〕

防衛的→攻撃的
まるい→かどのある
謙そんな→高慢な

協力的→競争的
消極的→積極的
未熟な傾向が小さくなる

〔女子〕

消極的→積極的 まるい→かどのある
協力的→競争的 寛大な→きびしい
防衛的→攻撃的 落着いている→興奮しやすい
社交的でない→社交的 調和する傾向小さくなる

A型傾向の顕著な男子の自己像の特徴は、攻撃的でかどがあり、高慢で競争的であるが、積極的であり、あまり未熟ではない。A型傾向の顕著な女子の自己像の特徴は、積極的で競争的、攻撃的であり、社交的である。またあまり調和する方ではなく、かどがあり、きびしく興奮しやすいといえる。ただ女子の場合、謙そんな一高慢なという自己像は関連がないようである。

c. I型傾向と自己像

I型傾向が増加すると自己像の変化はどうなるかを、全体的、男女別に見よう。

〔全体的〕

社交的→社交的でない あたにかい傾向小さくなる
あかるい傾向小さくなる 調和する傾向小さくなる
積極的→消極的 あたらしい→ふるい
勇敢な→臆病な はやい→おそい
きれいな傾向小さくなる 寛大な傾向小さくなる
やわらかい→かたい 正直な傾向小さくなる
敏感な傾向小さくなる かわいた→しめった
楽しい傾向小さくなる 強い→弱い
すなわち、I型傾向の顕著な者の自己像は、社交的でなく、あまりあかるい方ではなく、消極的で臆病であり、あまりあたにかい方でも調和する方でもなく、ふるくておそい。あまりきれいではなく、かたい。あまり敏感ではなく、あまり楽しくも寛大でも正直でもなく、しめった、弱いということが出来る。

〔男子〕

社交的→社交的でない 調和する傾向小さくなる
積極的→消極的 敏感な傾向小さくなる
あかるい傾向小さくなる 楽しい傾向小さくなる
勇敢な→臆病な かわいた傾向小さくなる
あたらしい→ふるい 寛大な傾向小さくなる

〔女子〕

あたにかい→つめたい あかるい傾向小さくなる
社交的→社交的でない きれいな傾向小さくなる

I型傾向の顕著な男子の自己像の特徴は、社交的でなく消極的であり、あまりあかるい方ではなく、臆病でふるい。またあまり調和する方でも寛大でもなく、あまり

敏感ではなく、あまり楽しくもなく、あまりかわいた方でもない。I型傾向の顕著な女子の自己像の特徴は、つめたく社交的でなく、あまりあかるい方でもきれいでもないといえる。

I型傾向の顕著な場合、T型・A型の場合と異なり、男子と女子の自己像の特徴のちがいが目立つ。社交的でなく、あまりあかるい方ではないという点だけが男女に共通した自己像であるが、あとの残りは同じI型でも男子だけ、女子だけにみられる特徴があげられている。

T型、A型、I型それぞれ顕著な傾向のある者は、その基本的態度の特性と自己像の特性が大体よく一致しているといえるのではない。

典型的に検討してみよう。

〔T型〕 消極的で臆病で弱いというように自分を弱小視し、防衛的な自己像をもち、肯定面としては、かなりまるといって親和的な自己像をもち、T型の特性と大体一致している。

〔A型〕 他人は自分との競争者であり、力関係から他人との関係をみるというA型の特性とよく対応する自己像をもつ。

〔I型〕 I型の者の自己像の特徴は多く見出されているが、全般的に否定的消極的な自己像をもち、積極的なものが見出せない。孤立、隠退、逃避により自分を防御するといったI型の消極的特性と大体対応した自己像をもっていると思われる。

要 約

- 1) 青年の自己像と基本的対人態度の関連をみるため

に、被験者として、大阪市立大学学生 200 名を対象に選び、性・学年・学部がなるべく偏らないように、また所属クラブも運動系・文化系・音楽系で偏らぬよう配慮した。

2) 自己像の測定には、SD法を用い、性格、身体像など自己像を表わすと思われる形容詞の対30個を選び、それぞれ7段階評価を行わせた。

3) 基本的対人態度の測定には、Horneyの理論にもとづき、西平が開発した態度測定項目を用い、5段階評価を行わせた。基本的対人態度はT型(依存=親和型)、A型(敵対=指導型)、I型(孤立=独創型)の3型を測定する。

4) 基本的対人態度と自己像との間には、類型別にそれぞれ関連のある特徴が見出された。

5) 自己像の男女差については、5対の項目で対照的な差が見出された。また理工系学生と商経系学生との間にも、4項目で差異が見出された。

文 献

- 1) 日本児童研究所編：児童心理学の進歩，第13巻，金子書房，PP.130～147 (1974)
- 2) 日本児童研究所編：児童心理学の進歩，第17巻，金子書房，PP.112～136 (1978)
- 3) Horney, K., 我妻 洋訳：現代の神経症の人格，ホーナイ全集，第2巻，誠信書房，(1973)
- 4) 西平直喜：青年分析，大日本図書，PP.68～74 (1964)
- 5) 我妻 洋：自我の社会心理，誠信書房，P.56 (1964)
- 6) 西平直喜：青年心理学，国土社，P.133 (1959)

Summary

- 1) In order to investigate the relationship between young people's self-images and their attitudes to other people, 200 student of Osaka City University were selected as the subjects for this study in such a way that they were properly distributed in respect of their sex, age, and faculty. The kind of club they belong to ... sports, liberal arts, music, etc. ... was also taken into consideration.
- 2) In the measurement of self-image the Semantic Differential Method was adopted; the subjects were asked to make a seven-grade evaluation for themselves in each of the thirty pairs of adjectives which are related to the expression of self-image, such as those concerning character, temperament, body image, etc.
- 3) In the measurement of attitude to people, the questionnaire items developed by Nishihira based on Horney's theory were used, and concerning those items the subjects judged their attitudes to others on a five-grade system.
In dealing with the results, basic attitudes to people were classified into the following three types: (1) Type 'T' (dependent = familiar), (2) Type 'A' (opposing = leading), (3) Type 'I' (isolated = creative).
- 4) In each of three types significant relationships were observed between self-images and basic attitudes to people.
- 5) In five pairing-items, contrasting difference in self-image was noticed between boys and girls, and also between the students of science and engineering and those of commerce and economics was found considerable difference in four items.

付表-1 自己像測定項目

		と と も	か な り	や や	ど ち ら い で	や や	か な り	と と も		
1	あかるい								くらい	1
2	理性的								感情的	2
3	積極的								消極的	3
4	苦しい								楽しい	4
5	社交的								社交的でない	5
6	攻撃的								防衛的	6
7	あたらしい								ふるい	7
8	謙そん								高慢な	8
9	ふかい								あさい	9
10	病弱な								健康な	10
11	調和する								不調和な	11
12	はやい								おそい	12
13	複雑な								単純な	13
14	勇敢な								臆病な	14
15	かたい								やわらかい	15
16	信じやすい								疑い深い	16
17	強い								弱い	17
18	かどのある								まるい	18
19	興奮しやすい								落ち着いている	19
20	正直な								不正直な	20
21	しめった								かわいた	21
22	きびしい								寛大な	22
23	未熟な								成熟した	23
24	競争的								協力的	24
25	用心深い								軽率な	25
26	あたたかい								つめたい	26
27	きれい								きたない	27
28	利他的								利己的	28
29	よい								わるい	29
30	敏感な								鈍感な	30
		と と も	か な り	や や	ど ち ら い で	や や	か な り	と と も		

付表-2 基本的対人態度測定項目

	非常 だと思 う A	ま あ え そ う い B	普 通 の 程 度 C	必 ず し も い そ う D	決 い え な い と う E	
I	1 私は人に対して暖かく世話することがすきだ					1
	2 私は人に対して忠告したり、意見をいったりする					2
	3 私は人に対して余り干渉しないことにしている					3
II	4 私は人がいないと寂しいのでいつも人と一緒にいたい					4
	5 私は人と争う（喧嘩、口論）ことが多い					5
	6 私は人と会いたくないことが多い					6
III	7 私は人のいうことに素直である					7
	8 私は人を指導する（リードする）力がある					8
	9 私は一人でコツコツ仕事をするを好む性質である					9
IV	10 私は人に対して臆病で逃げ腰である					10
	11 私は人に対して傲慢である					11
	12 私は人に対して冷淡である					12
V	13 私は年上の人から可愛がられる					13
	14 私は年下の人から尊敬される					14
	15 私は一人で本を読んだり散歩したりすることを好む					15
VI	16 私は人から甘えっ子だと思われている					16
	17 私は人からこわい人だと思われている					17
	18 私は人から冷たい人だと思われている					18
VII	19 私は人から暖かい人だと思われている					19
	20 私は人から頼もしい人だと思われている					20
	21 私は人から謹厳な人だと思われている					21
VIII	22 私は人生はなんとなく心細く、恐ろしいと思う					22
	23 私は人生は斗いの場所であり、勝利者にならなければ と思う					23
	24 私は人生は結局孤独（ひとりぼっち）なのだと思う					24
IX	25 私は人のいうことを気にする方だ					25
	26 私は人がどう思っても、平気で自分の信じたままをど しどし実行する					26
	27 私は人のいうことに無関心な方だ					27
X	28 私は人嫌いではないが人前にでると恥ずかしがりだ					28
	29 私は一般に反抗的である					29
	30 私は一般に非社会的である					30